



# 「活用力」を高める授業づくりのポイント

福島県教育センターでは、平成23・24年度の2年間、「活用力」を高める学習指導の在り方についての研究を行いました。ここでは、国語科、算数・数学科、理科における指導のポイントを紹介いたします。ぜひ、授業改善のヒントにいただき、目の前の子ども一人一人の「活用力」を高めましょう。

## 「活用力」とは…

既習事項を用いて考え、根拠をもとに必要な情報や事柄を判断したり選択したりし、自分の思いや考えを表現する力

既習事項＝知識・技能、見方や考え方、学習・生活経験等

※ 既習事項を活用し問題を解決する場面を想起してみると、必ずそこでは、思考し、判断し、表現することが行われています。つまり、問題を解決するためには、思考力・判断力・表現力等が必要となるのです。センターではこの3つの能力を総称して「活用力」ととらえています。



## 国語科指導ワンポイント

### 「単元を貫く言語活動」を設定し活用する時間を!

身に付けさせたい力

【「読むこと」領域での単元展開】

#### 第3次 (単元を貫く) 言語活動

- (身に付けたい力) 「活用」の場
- 活用力 (思考・判断・表現) 発揮の場

#### 第2次 教材文の読解 (第3次につながる学習活動)

- (身に付けたい力) 「習得」の場
- ・ 活用力 (思考・判断・表現) を発揮して学習活動を行い、新たな言語能力を習得する場

#### 第1次 単元の導入

- 学習意欲の喚起、目的意識の醸成

- 「習得と活用」を意識し、身に付けさせたい力で貫く単元構成
- 第2次と第3次につながる単元展開

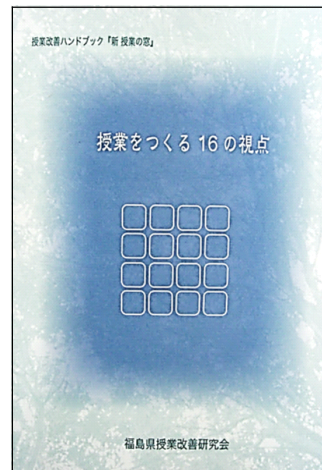
- 本単元で身に付けさせたい力は何かを明確にします。
- 身に付けさせたい力は、あれもこれもとにならないように焦点化します。
- その力を活用するのにふさわしい言語活動 (音読劇、本の紹介文・推薦文づくり等) を、第3次に設定します。
- 第2次の学習は、第3次に設定した言語活動に向けて進めるようにします。
- 第3次の言語活動で必要となる力 (身に付けさせたい力) を第2次でしっかりと指導し習得させることで、第2次と第3次につながりを持たせます。
- 第1次で言語活動を子どもに示す際には、目的・相手・場面等も伝え、意識を高めます。

## 『授業改善ハンドブック「新 授業の窓」授業をつくる16の視点』

思考力・判断力・表現力等を育てる授業づくりの視点から、『授業をつくる16の視点』を作成しました。本書は、県内の小・中学校に2冊ずつ配付 (平成25年4月) しましたので、各学校でご活用ください。

なお、本書の内容は、福島県教育センターのWebサイトからダウンロード可能です。

( [http://www.cms-center.gr.fks.ed.jp/?page\\_id=1407](http://www.cms-center.gr.fks.ed.jp/?page_id=1407) )



## 算数・数学科指導ワンポイント

### 「～たい!」を引き出し思考過程の共有・吟味を!

算数・数学科における「活用力」の育成 = 数学的な見方や考え方、数学的な表現力 の育成

#### 《「～たい!」を引き出す》

- ★ 既習内容とのズレ
- ★ 生活経験とのズレ
- ★ 感覚とのズレ
- ★ 予想とのズレ
- ★ イメージとのズレ
- 等

#### 《思考過程の共有・吟味》

- ★ 予想活動 「～さんの考えの続きが言えるかな」
- ★ 再生活動 「～さんの説明をもう一度言えるかな」等

子どもから、「調べたい!」「考えたい!」「伝えたい!」「聞きたい!」等の主体的な姿を引き出そうとする教師の構えと具体的な手立てが必要です。左のような「ズレ」を生かし、子どもが、自ら動き出したくなる場を設定してみましょう。

子どもから引き出した数学的な見方・考え方を、学級全体で共有したり吟味したりする場を設定しましょう。そして、左のような発問により活動を仕組み、言語活動の質的充実を図り、子どもの数学的な見方・考え方や数学的な表現力を高めましょう。

## 理科指導ワンポイント

### 思考・表現の場の設定がポイント!

理科における「活用力」の育成 = 科学的な思考力・表現力の育成

#### 授業改善

##### 《単元構想》

- ★ 系統性を重視したねらいの明確化
- ★ 評価計画の充実
- ★ 問題解決の能力をはくむ学習活動の充実

【問題解決の能力】

- 第3学年 ・ 比較しながら
- 第4学年 ・ 関係付けながら
- 第5学年 ・ 条件に目を向けながら
- 第6学年 ・ 推論しながら
- 中学校 ・ 分析して解釈する

##### 《授業構想》

- ★ ねらいの明確化
- ★ 科学的な知識や概念を活用する場の設定
- ★ 科学的な探究の過程と、科学的に思考し表現する場の重視
- ★ 評価の充実

【問題解決の過程】

- ・ 自然事象への働きかけ
- ・ 問題の把握・設定
- ・ 予想・仮説の設定
- ・ 検証計画の立案
- ・ 観察・実験
- ・ 結果の整理
- ・ 考察
- ・ 結論の導出

【思考・表現の場の設定①】

- ・ 生活経験や学習経験からの予想・仮説
- ・ 自分なりの考えの顕在化
- ・ 相互理解の話し合い活動
- ・ 観察・実験で実証したいという意識

【問題解決の中核となる観察・実験】

【思考・表現の場の設定②】

- ・ 観察記録や実験データに基づく考察
- ・ 出来るだけ多くの事実を基にした考察
- ・ 予想や仮説とのすり合わせ
- ・ 合意形成の話し合い活動
- ・ 科学的な言葉や概念を使用して考えたり説明したりする活動